

ロボコンジャパンカップ 2026 決勝大会

ルール

2026 年 9 月 9 日版

1. ロボットについて

本体サイズ	タテ 39.4cm x ヨコ 39.4cm x 高さ 40.0cm 以内 (<u>バケット部を含む最長の長さをこの範囲内とする。</u>) (<u>バケット可動時も同様この範囲内とする。</u>)
足回り	キャタピラ仕様のみ。(キット付属車輪のみ使用すること)
モーター	〔FA-130〕のみ使用可能とする。(キット付属のモーターのみ) 改造されたモーターの使用は認めない。搭載する数に制限は無し。
電池	使用できるのは <u>単二もしくは単三電池 2 本に限る。</u> 改造などして上記電池以外の電池を使用する事は認めない。
バケット	<u>ワンピースギアボックス（付属品）による駆動を条件とします。</u>

※ 車検は、バケット部及び付随するパーツを最長に伸ばした状態で行います。

※9/10、ホームページと LINE にて「決勝大会総当たり戦グループ分け」および「決勝コースレイアウト」「決勝出走表」「決勝プログラム」をご通知致します！

2. ルールについて

- 決勝進出者 **33 名**を 8 組に分け、A コース・B コースの 2 コースを使用して、各組で総当たり戦を行います。第 1 組は 5 名、第 2～第 8 組は各 4 名です。
- 1 試合 3 分間。各陣地に 2 種類の玉を配置し、相手フィールドに送り入れる対戦形式となります。
- 黒い坂の白いラインをバケットが越えない状態で待機し、スタートの合図でスタートします。※コース図参照
- 使用する玉は 2 種類です。各陣地に、ガチャ玉（中にスーパーボール入り）10 個とピンポン玉 15 個の、計 25 個を配置します。
- 玉は 2 種類とも 1 個 1 点。試合終了時、自陣に残った玉の合計点数が少ない方を勝ちとします。
- 指定場所から玉を拾い上げ、中央の黒い坂を上り、パイプのスロープを使って相手陣地へ送り込みます。
★ 相手陣地へ玉を送り入れられるのは「黒い坂 → パイプのスロープ」からのみです。
壁（パネル）を越えて直接入れることは禁止します。
- 自陣側からスロープを逆方向（下から上）にを使って、相手陣地へ玉を送り入れること

は禁止します。

- パイプのスロープ上をバケットや車体で塞ぎ、相手から送られてきた玉が自陣へ入るのを妨げる行為は禁止します。
- 3 分間の競技終了時、**審判がパイプのスロープ中央（両陣地の境界）に仕切りを入れます。**終了時にスロープ上にある玉で、仕切りより自陣側にあるものは自陣の玉としてカウントし、相手陣地側にあるものはカウントしません。
- 総当たり戦の各組上位 2 名、**計 16 名**が決勝トーナメントへ進出し、優勝者を決定します。

※引き分け・順位が並んだ場合

- 総当たり戦で 2 名の勝敗数が同点となった場合は、当該選手による **2 分間の再試合**を行い順位を決定します。3 名以上が同点となった場合は、当該選手による **2 分間の総当たり戦**を行いその勝敗数により順位を決定します。なお、再試合後も順位が決まらない場合は、**順位が決まるまで**同様の方法で再試合を行います。
- 決勝トーナメントで引き分けとなった場合は、2 分間の再試合を行い、勝敗が決まるまで繰り返します。

3.リトライについて

(1). リトライの条件

- ロボットが故障した場合
- 競技者が「リトライ」を宣言し、審判が認めた場合
- その他、審判がリトライと判断した場合（例：ロボットが横転したり、キャタピラが外れたりして走行不能になった場合）

(2). リトライの手順

①選手が手を上げ「リトライ」と宣言する

↓

②審判がリトライを認める

↓

③コース脇で修理を行う

↓

④バケットが白いラインを越えない位置にロボットを戻す

↓

⑤審判の「スタート」のコールで再スタートする。

(3). 再スタートの位置・・・※コース図参照

- コース内で競技中に「リトライ」をする場合は、コース中央部分の黒い坂から再スタートします。スタート時と同様に、バケットが白いラインを越えない位置にロボットを戻し、審判の「スタート」の合図で再スタートします。

4.メンテナンス（修理）について

- ・ 競技中の修理は必ずコース脇で行って下さい。(キャタピラ外れを直す場合も、コース上では修理しないでください。)
 - ・ 修理中も競技時間は経過します。(修理後は再スタートとなります。)
 - ・ 修理不可能の場合は棄権となります。
 - ・ 競技中の修理を素早く行うため、事前にコース脇の邪魔にならない場所へ工具を用意して下さい。保護者の方が近くで管理しても構いません。
 - ・ 審判およびロボコンジャパンメンバーから工具の貸し出しは行いません。
ただし、最初に貸し出している工具を持ち込むことは可能です。
 - ・ メンテナンス（修理）は、選手本人と保護者 1 名まで行えます。それ以外の人、ロボットに触れることは禁止します。
- ※複数の関係者がロボットに触れた場合は失格となりますので、ご注意ください。**

5. 禁止及び失格行為

● 禁止行為

- ・ 競技中、リトライ時以外に無断でロボットに触れること。
- ・ 選手が故意にコース上へ進入すること、またはコース上の備品等を故意に破壊すること。
- ・ 競技中に選手以外の人、ロボットやリモコンを持ったり、操作したりすること。
- ・ **ただし、リトライ宣言後のメンテナンス時に限り、保護者 1 名が手伝うことは可能。**

● 失格行為

- ・ 「1.ロボットについて」の規定に反する改造を行った場合。
- ・ リモコンでロボットを引っ張ったり、試合中にわざと横転させるなど、競技の妨げとなる行為や悪ふざけをした場合。
- ・ 禁止行為を繰り返し、度重なる警告を受けた場合。

6.その他

- ・ 大会本番までに、コース・ルールを若干変更する場合もございます。
変更がある場合は、ホームページ及び LINE にてご案内いたします。ご了承下さい。

H P : <http://www.robocon-japan.com/>

- ・ 競技中はコースや備品に触れる機会があります。誤って破損しないよう十分注意して下さい。
- ・ 大会中は、参加者全員が楽しく安全に競技できるよう、ルールを守って参加下さい。